

科目名	医療コミュニケーション学演習 [科目番号：41618122]		
学期	S2	単位数	2単位
曜日・授業時間帯	水曜3-4限		
場所	医学部教育研究棟13階 公共健康医学専攻 (SPH) 講義室		
担当教員	木内貴弘、奥原剛 他		
授業の目的	効果的な医療コミュニケーション（ヘルスコミュニケーション）を行うために必要なスキルを、対人コミュニケーション、メディアを通じたコミュニケーションそれぞれ具体的に取り上げ、演習を行うことによって、「医療コミュニケーション学」の講義で学んだ理論や方略に対する理解を深めるとともに、具体的な医療コミュニケーションの場（医療機関、官公庁、教育機関、研究機関、患者支援組織、マスコミ等）でこれらを生かすことができるようにすることを目的とする。		
授業の方法	<ul style="list-style-type: none"> 各回、課題にもとづいて演習・発表・討論を行う。 演習毎にプレゼンテーション、レポート提出、相互評価等を行う。 		
授業計画及び内容 (各回のテーマ)	月日	内容	担当
	6月5日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング(1) 患者・家族を支援する説明文書を作る 注意：ノートPC持参のこと	高山智子 (がんコミュニケーション学)
	6月12日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI (Myers-Briggs Type Indicator) 演習 (1)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	6月19日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (2)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	6月26日(水) 13:00-16:40	自分を知る・相手を知る MBTI 演習 (3)	園田由紀 (日本MBTI協会)
	7月3日(水) 13:00-16:40	行動変容を支援するスキル コーチング演習	田口智博 (藤田医科大学)
	7月10日(水) 13:00-16:40	メディア報道のあり方を考える メディアドクター演習	渡邊清高 (帝京大学)
	7月17日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング(2) 市民の行動変容を促す保健医療文書を作る 注意：ノートPC持参のこと	奥原剛
	7月24日(水) 13:00-16:40	ヘルスライティング(3) 発表会・総合討論 注意：ノートPC持参のこと	木内貴弘、奥原剛、高山智子、上野治香
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> 田近秀敏：[実践]ビジネス・コーチングプロフェッショナル・コーチの工具箱、PHP 研究所、2003 園田由紀（訳）：MBTI への招待—C.G.ユングの「タイプ論」の応用と展開、金子書房、2002 石川ひろの、奥原剛、他著. 人間関係論（系統看護学講座 基礎分野）. 医学書院. 2018 		
成績評価の方法	演習への参加（50%）、演習内でのプレゼンテーション（20%）、作成した資料・レポート（30%）によって評価する。演習への参加が前提となるため、やむを得ず欠席する場合には、事前に事情を届け出ること。		
他の授業との関連	「医療コミュニケーション学」講義の受講は前提としないが、受講していることが望ましい。MBTI 演習については原則として聴講を認めない。		